

令和元年度安芸高田市教育委員会会議

第4回臨時会

令和2年度使用中学校教科用図書（「特別の教科 道徳」を除く）

採択会議録（概要）

- 1 日 時 令和元年8月6日（火）13時00分から15時55分まで
- 2 会 場 安芸高田市民文化センター 3F 視聴覚室
- 3 出席委員等 教 育 長 永井 初男
教育長職務代理者 上田 隆之
委 員 山本 博明
委 員 亀井 聖
委 員 金川 佳寛
委 員 広瀬 ゆみこ
- 4 出席職員 学校教育課 課 長 内藤 麻妃
学校教育課 学校教育指導係 指導主事 栗原 団司

会 議 概 要	
教育長	議案第29号「令和2年度に安芸高田市立中学校で使用する教科用図書（特別の教科・道徳を除く）の採択」について提案理由及び議案の説明を求めます。
課長	<p>それでは、議案第29号「令和2年度に安芸高田市立中学校で使用する教科用図書（「特別の教科 道徳」を除く）に係る教科書の採択について」提案理由をご説明いたします。</p> <p>本案は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6号に基づき、令和2年度から、安芸高田市立中学校において使用する教科用図書（「特別の教科 道徳」を除く）に係る教科用図書を採択するものです。</p> <p>7月29日付けで、安芸高田市教科用図書採択地区選定委員会会長から、採択について答申を受けましたので、この答申をもとに教育委員会として採択をしていただきますよう、別紙のとおり提案いたします。</p> <p>なお、議案の内容につきまして、引き続き、私の方から説明をいたします。</p> <p>議案に添付しております一覧が、提案をさせていただく種目ごとの教科用図書とその採択理由でございます。また、別冊として資料としてお配りさせていただいておりますのが、安芸高田市教科用図書採択地区選定委員会から提出されました調査研究結果についての答申でございます。令和2年度から使用する教科用図書として提案させていただく教科用図書は、選定委員会が第一推薦として答申したものでございます。これより、担当者から教科ごとに採択理由等のご説明をいたしますので、ご審議のほどを宜しくお願いいたします。</p>
教育長	只今の課長からの説明について、質問等ございませんでしょうか。
委員	基本的な事ですが、令和2年度から使用するこの教科書は、いつまで使用するのか、そして、「特

	別の教科「道徳」を除く理由について再度確認させてください。
指導主事	いつまで使用かということについて、1年間の使用となります。 「特別の教科「道徳」は、昨年度採択しておりますが、新学習指導要領の改訂にともなうこととなります。
課長	補足説明をします。教科書採択は、4年に1回採択するのが基本となっております。この度採択をしましたら、通常なら来年度から4年間使用する事になりますが、中学校においては、令和3年度から、新学習指導要領の全面実施になります。この度採択する教科書は、新学習指導要領に沿ったものではないため、来年度1年間の使用となります。道徳の教科書については、先ほど指導主事が申しましたように昨年度採択し、今年度から4年間の使用になりますが、これについても、新学習指導要領の改訂にともなって、来年度採択を行い、令和3年度から、新学習指導要領に沿った教科書を使用する事になります。
教育長	いかがでしょうか。
委員	よくわかりました。
教育長	その他にご質問等、ございませんか。
委員一同	ありません。
教育長	それでは、説明をお願いします。
指導主事	選定委員会の答申について説明をさせていただきます。令和元年6月4日付けで諮問を受けました、令和2年度に使用する中学校教科用図書について、調査研究結果また選定委員会の答申を踏まえて、採択理由を説明します。
指導主事	安芸高田市教科用図書採択地区選定委員会は、安芸高田市教育委員会が定めた教科用図書の採択基本方針に基づき、1.基礎基本の定着。2.主体的に学習に取り組む工夫。3.内容の構成・配列・分量。4.内容の表現・表記。5.言語活動の充実という五つの観点について調査研究を行い、安芸高田市の生徒にとってまた、教員にとってもっとも適切な教科用図書はどれであるか審議いたしました。中学校の教科書につきましては、現行の第一推薦を中心に第二推薦をあわせて、採択理由に挙げている特長的事項について教科書を提示しながら説明をいたします。お手元の教科書の見本本をご覧いただきながら、進行してまいりますので、よろしく願いいたします。
指導主事	まず、国語について説明いたします。現行は光村です。第1推薦 光村、第2推薦 東書になっております。 観点1です。光村の50ページをご覧ください。2行目の中ほどに「一瞬」がありますが、下の脚注に行数と本文中の読みを示してします。また、52ページの教材末にページ数、音訓、用例を示しています。また、巻末に、「〇年生で学習した音訓」として、ページ数、音訓、部首、画数、筆順、用例を示しています。東書では、51ページをご覧ください。「新出漢字の示し方」では、脚注に行数、音訓、用例を示し、巻末に「新出音訓一覧」として、ページ数、音訓、部首、画数、筆順、用例を示しています。 観点2です。光村の56ページをご覧ください。「話すこと・聞くこと」「書くこと」を扱うページを上下2段に分け、上段に学習の流れ、下段に具体例などを提示しています。また、学習活動は4つのステップで構成され、テーマを決めたり立場や根拠を考えたりする手順を示しています。東書の55ページをご覧ください。「話すこと・聞くこと」「書くこと」を扱うページを上下2段に分け、上段には学習の流れ、下段に具体例などを提示しています。また、教材の前に「学びの扉」として、直前の教材で学習したこととの関連を示しています。 観点3です。光村の14ページをご覧ください。2・3学年は、本文と「文法」「漢字に親しもう」

	<p>「学習を広げる」の4部構成、1学年は「言葉に出会うために」を加えた5部構成で、「学習を広げる」に読み比べたり読み広げたりできる教材を掲載しています。また、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「言葉の特徴やきまり・漢字」の3年間合計ページ数が他の教科書と比較して多くなっていると報告を受けています。東書の2～5ページをご覧ください。ページの上に、基礎編、資料編等が明記されています。構成は、本文、「基礎編」「資料編」の3部で、「資料編」で、読み比べたり読み広げたりできる教材を掲載しています。</p> <p>観点4です。光村の257ページをご覧ください。巻末の「漢字に親しもう」では、小学校6学年で学んだ漢字の練習を問題形式で示しています。また、巻末資料の折込みでは、文章を読むための基本的な学習用語をまとめています。1学年の説明的な文章における文章と図表との関連について考えさせる教材は、4教材23ページと最も多く掲載されているとともに、図表等の種類も5種類と多くなっていると報告を受けています。東書の229ページをご覧ください。巻末の「学びを支える言葉の力」では、言葉の力を「実用的な言葉の力」「論理的な言葉の力」「創造的な言葉の力」の3項目で6種類に分類し、学年に応じて系統的に示しています。また、1学年の説明的な文章における文章と図表との関連について考えさせる教材は、3教材19ページが掲載されています。図表等の種類は分布図などもと報告を受けております。</p> <p>観点5です。光村では、「書くこと」の学習を1・2年は5回、3年は3回設定し、新入生へのメッセージを書く、職業ガイドを作る、修学旅行記を編集するなどの活動があります。また、書く内容を整理する方法や推敲などを、「練習」として各学年3回設定しています。言語活動充実の手立てとして、資料編で、表現活動のテーマ例や情報の収集方法などを解説しています。東書では、「書くこと」の学習を1・2年では6回、3年では4回設定し、詩歌の創作やレポート、批評文、手紙、ミニ雑誌の編集などを取り上げています。言語活動充実の手立てとして資料編に、「話すこと・書くこと題材例」、「発想・整理の方法」の解説があります。</p> <p>それでは、採択理由をご覧ください。</p> <p>「話すこと・聞くこと」「書くこと」の学習活動は4つのステップで構成され、テーマを決めたり立場や根拠を考えたりする手順を示しており、見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための活動の工夫がされている。また、資料編において、表現活動のテーマ例や情報の収集方法などを解説しており、具体的なイメージをもって言語活動を進めることができる工夫がされている。</p> <p>以上のことから、国語は、第一推薦を光村としたいと思います。</p>
教育長	それでは、これより質疑に入ります。只今の国語の教科書の説明についての質疑はございませんか。
委員	前回の採択理由と今回の採択理由との差異が何かありますか。採択理由を公開することになると前回の理由と比べてみることもできると思います。その辺りはいかがでしょうか。
指導主事	基本的には、調査員が前回も今回もしっかりと教科書を見て確認しながら報告書を作成しております。今年度の選定資料にあります、観点にそって調べておりますので、まったく一緒ではないと考えられます。内容的には、工夫されている点とそれが最も顕著な点において修正がされております。
教育長	したがって、前回の報告結果と大きな差異は認められないという受け止めでよいでしょうか。
指導主事	そのようにお考えいただければと思います。
教育長	よろしいでしょうか。
委員	はい。
教育長	それでは、ほかにありませんでしょうか。

教育長	特に質疑・意見等が無いようですので、国語については報告いただきましたように、光村を採択することに決定してよろしいでしょうか。
委員一同	異議なし。
教育長	異議なしと認め、国語については光村を採択することに決定しました。
教育長	続いて、書写について説明を求めます。
指導主事	<p>書写について説明いたします。現行は、光村です。第1推薦 光村、第2推薦 東書になっております。</p> <p>観点1です。光村の4ページをご覧ください。毛筆のみの正しい姿勢を示していますが、正面と側面から写した写真を掲載していることが挙げられます。姿勢や用具の使い方等を見開き2ページにまとめています。東書の4ページをご覧ください。毛筆・硬筆の正しい姿勢等を、写真及びイラストを使い、3ページにわたって示していることです。硬筆の姿勢を表しているのは、東書と学図のみで、チョークの持ち方を示しているのは東書のみでした。</p> <p>観点2です。光村の16ページをご覧ください。下に「学習の窓」というスペースを設け、留意点を確認するようにしているところが特徴的です。東書の24ページをご覧ください。学んだことを他の文字へ汎化すること、また発展的な学習へつなげていく流れが特徴的です。</p> <p>観点3です。光村の巻末資料59ページをご覧ください。資料で50ページ設定があり、最も多く日常生活に生かす内容や書写の歴史、伝統的な言語文化に関する内容が掲載されています。東書の100ページをご覧ください。巻末資料に35ページ設定があり、日常生活に生かす内容や書写の歴史、伝統的な言語文化に関する内容が掲載されています。また、教科書の横幅は最も大きくなっています。</p> <p>観点4です。光村の10ページをご覧ください。学習のはじめに筆遣いのポイント等で、「トン、スー、トン」といった擬音を示しているのが特徴的です。東書の12～13ページをご覧ください。楷書の基本点画について写真で筆遣いを示すとともに送筆について「トン、スー、グッ、ピタッ」といった擬音を入れて示しているのが特徴的です。</p> <p>観点5です。光村では、「資料編」の中で、日常生活での活用及び情報活用、図書館活用、学校行事への活用の教材を掲載しています。東書では、学習や日常生活と関連付けがなされた単元の数は、各学年とも5単元掲載されており、最も数が多くなっています。</p> <p>それでは、採択理由をご覧ください。</p> <p>学習課題の確認、留意点の確認をした上で、毛筆での練習、硬筆での練習、自己評価というように、学習活動の流れや構成が分かり易い。</p> <p>また、豊富な巻末資料があり、日常生活に生かす内容や書写の歴史、伝統的な言語文化に関する内容が掲載されており、活用しやすい工夫がされている。</p> <p>以上のことから、書写は、第一推薦を光村としたいと思います。</p>
教育長	只今の書写についての説明につきまして、質問を受けたいと思います。ご質疑いかがでしょうか。
委員一同	ありません。
教育長	それでは、質疑・意見等無いようですので、書写につきましては報告を頂きましたように光村を採択することに決定して、よろしいでしょうか。
委員一同	異議なし。
教育長	異議なしと認め、書写につきましては、光村を採択することに決定しました。
教育長	それでは、続いて社会（地理的分野）についての説明を求めます。
指導主事	社会（地理的分野）について説明いたします。現行は、東書です。第1推薦 東書、第2推薦 日

	<p>文となっております。</p> <p>観点1です。東書 11 ページをご覧ください。「地理スキルアップ」「調査の達人」のコーナーを多数設定しています。日文 11 ページをご覧ください。「スキルUP」「言語活動」のコーナーを多数設定しています。</p> <p>観点2です。地球儀や地図帳等を使った事例数では東書が 36 事例、日文が 37 事例となっております。つまり、作業的・体験的な事例を多数掲載し、活動的な学習を設定しているという報告がありました。</p> <p>観点3です。総ページ数の最も多いのが東書、続いて日文、また、統計資料については東書が他社より多いという報告がありました。</p> <p>観点4です。選定資料 37 ページにもありますが、写真やグラフなどの総掲載資料数について、選定資料、調査員から、東書 1092 点、日文 915 点と報告を受けています。</p> <p>観点5です。多面的・多角的に考察させるための工夫について、表現する力を育てるために、1 時間ごとの振り返りやまとめにおいて、考察・理解したことを「～について説明しよう」という課題設定がされているのが、東書、日文に見られるということです。</p> <p>それでは、採択理由をご覧ください。</p> <p>社会（地理的分野）です。国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫、作業的、体験的な学習を実施するための工夫、また、多面的、科学的に考察させるための工夫などについて、具体的に示した箇所が比較的多い。</p> <p>また、見開きごとの「確認」により、学習したことに対して「その理由を説明しましょう」「次の語句を使って説明しましょう」など、説明を求める課題を多く掲載し、多面的・多角的に考察することができる工夫がされている。</p> <p>以上のことから、社会（地理的分野）は、第一推薦を東書としたいと思います。</p>
教育長	只今、社会（地理的分野）について説明をいただきました。ただいまの説明につきまして質疑・意見等ございませんでしょうか。
委員一同	ありません。
	それでは、質疑・意見が無いようですので、報告をいただきましたように、社会（地理的分野）につきまして、東書を採択することに決定してよろしいでしょうか。
委員一同	異議なし。
教育長	異議なしと認め、社会（地理的分野）は、東書を採択することに決定しました。
教育長	それでは、続いて社会（歴史的分野）についての説明を求めます。
指導主事	<p>社会（歴史的分野）について報告します。現行は、日文です。第1推薦は日文、第2推薦は東書となっております。</p> <p>観点1です。両教科書とも、見開き1ページに「問いかけ」の形で学習課題を設定しています。日文 18 ページ、東書 22 ページをご覧ください。</p> <p>国際関係や文化交流に関するコラム数については、日文 28 点、東書 21 点となっております。多様なコラムを活用することにより、国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫がなされているという報告がありました。ページを進めていただくと、日文では、学習の活用と確認があり、次の発展へと繋がりを明確にしています。東書の方は、歴史スキルアップということで、各単元にスキルアップコーナーを設けてさらに深めていくという学習の設定がなされています。</p> <p>観点2です。作業的・体験的な学習の具体例を調べたところ、日文 7 事例、東書 17 事例となって</p>

	<p>います。県内の史跡を取り上げているものでは日文 92 ページに草戸千軒町遺跡、東書 230 ページに原爆ドームを扱ったものが紹介されており、地域性を生かした学習展開を考えることができます。</p> <p>観点 3 です。発展的な学習の事例数について調べたところ、日文 18 事例、東書 13 事例でした。日文は「〇〇がないか調べてみましょう」という学習を促す言葉を示しており、東書はトライという吹き出しがあり、学習を促す言葉を示しています。</p> <p>観点 4 です。日文 237 ページの右下に「学習の確認と活用」というコーナーを設定しています。学習課題からさらに発展へと繋がっているのですが、249 ページに進んでいただきますと、例えば、確認では「戦後の平和と民主化をめざす動きを、世界と日本に分けて整理してみよう」とし、活用では「GHQが出した5大革命の指令には、それぞれどのような意味があったのか、戦前の日本の状況を思い出しながら説明してみよう」と現代におけるまとめの記載の仕方を工夫しています。同様に、東書は 238 ページをご覧ください。単元の終わりに確認のコーナーが設定されています。</p> <p>最後に観点 5 です。多面的、多角的な見方・考え方を育てるためには、複数の資料を比較することが必要になります。日文では、章末に「調べたことをまとめる」を設定し、学習を深めています。東書は章末に「イラストマップを作ろう」を設定しています。</p> <p>それでは、採択理由をご覧ください。</p> <p>国際関係や文化交流に関するコラムや、作業的、体験的な学習を実施するためのコラム、発展的な学習に関するコラム、目的に応じて適切に表現する力を育てるための活動例などの掲載事例が比較的多く、充実している。</p> <p>また、「系図の見方」「草戸千軒町遺跡を調べる」などを掲載しており、県内の史跡について取り上げ、作業的・体験的な学習を実施するための工夫がされている。</p> <p>以上の点から、社会科歴史的分野は日文を第一推薦としたいと思います。</p>
教育長	只今、社会（歴史的分野）について説明をいただきました。ただいまの説明につきまして質疑・意見等ございませんでしょうか。
委員一同	ありません。
教育長	それでは、質疑が無いようですので、社会（歴史的分野）につきましては、日文を採択することに決定してよろしいでしょうか。
委員一同	異議なし。
教育長	異議なしと認め、社会（歴史的分野）につきましては、日文を採択することに決定しました。
教育長	続いて社会科（公民的分野）についての説明を求めます。
指導主事	<p>社会（公民的分野）について報告します。現行は、日文です。第 1 推薦は日文、第 2 推薦は東書となっております。</p> <p>観点 1 です。「対立と合意」「効率と公正」という現代社会をとらえる見方や考え方についての具体的事例の掲載数を調べたところ、日文が 6 事例、東書 4 事例であり、いずれも大きく取り扱っており、作業的、体験的な学習を実施するための学習方法や、多面的、科学的に考察させるための課題例の掲載数が比較的多く充実しているという報告を受けています。</p> <p>観点 2 です。日文 32 ページ、東書 34 ページをご覧ください。ディベートやロールプレイ、ブレインストーミング等、話し合いや考えを深めるための手法を具体的に示し、主体的に学習に取り組む工夫がなされています。日文では、問いかけへのアプローチ、で具体的に深めてみること、その下には、「考えてみよう」ということで、イラストからの工夫、様々なカードを用意して、やってみようから、さらに深めるためにという流れを示しています。</p> <p>観点 3 です。発展的な学習に関する内容の記載状況の事例数は、日文が 30 事例、東書が 28 事例</p>

	<p>と報告がありました。日文 172 ページをご覧ください。これからの消費税を考えようとし、議論形式で学習を進めています。考えるガイドを明記しています。</p> <p>観点4です。政治を扱う单元において、日文が 271 点、東書が 260 点活用されています。また、日文では「学習の確認と活用」を設定し、東書では「確認」のコーナーで、学習を深めています。</p> <p>観点5です。目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫について、单元末のまとめの具体例を調べたところ、いずれの教科書も学習内容を整理したり、用語等の説明をさせたりする課題を設定しています。日文はそれらに加え、「合意を考えさせるための問題」を設定していました。例としては、日文では、私たちの生活と経済、学習の整理と活用について。東書では、私たちの暮らしと経済、この章の学習を確認しよう、と題してありました。</p> <p>それでは、採択理由をご覧ください。</p> <p>「対立と合意」「効率と公正」に関する具体例の掲載数が多い。</p> <p>また、作業的、体験的な学習を実施するための学習方法や、多面的、多角的に考察させるための課題例の掲載数が比較的多く充実している。</p> <p>さらに、单元末に「学習の整理と活用」を設け、学習内容と語句の整理をさせるとともに、「合意を考えるための問題」を掲載してあり、目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫がされている。</p> <p>以上の点から、日文を第一推薦としたいと思います。</p>
教育長	<p>それでは、只今の社会（公民的分野）についての説明に関わって、質疑等、ありませんでしょうか。</p>
委員一同	<p>ありません。</p>
教育長	<p>質疑・意見等ないようですので、それでは、社会（公民的分野）につきましては、日文を採択することに決定してよろしいでしょうか。</p>
委員一同	<p>異議なし。</p>
教育長	<p>異議なしと認め、社会（公民的分野）につきましては、日文を採択することに決定しました。</p>
教育長	<p>続いて、地図についての説明を求めます。</p>
指導主事	<p>地図について報告します。現行は帝国です。第1推薦 帝国、第2推薦 東書となっております。</p> <p>観点1です。日本の諸地域で、歴史に関する資料の掲載数を比較すると、帝国が 14 か所、東書が 7 か所となっています。また、国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身につけさせるための工夫については、帝国 13 ページ、東書 11 ページをご覧ください。世界の環境問題については、2社とも 2 ページに渡って掲載されています。</p> <p>観点2です。東書では資料図のページにキャラクターの噴出しで着目点が記載されています。帝国は資料図のページには「地図をみる目」という着目点が記載されているとともに、地図のページには「やってみよう」という学習活動などが記載されており、ほとんどのページで学習活動が設定されています。</p> <p>観点3です。総ページ数は東書が 183 ページ、帝国が 176 ページです。</p> <p>観点4です。帝国 91 ページ、東書 90 ページをご覧ください。広島市の内容と原爆投下に係る資料が掲載されております。また、地図の表記について、世界地図掲載のページにおいて、帝国には同緯度、同経度、同縮尺、地球の正反対の位置の日本を複数ページで掲載するなどの工夫が見られるという報告がありました。縮尺等の詳細については、後ほど、答申でご確認ください。</p> <p>観点5についてです。観点2のところの説明とも重なりますが、帝国は、読図のための着眼点や考察の視点についてより充実しており、興味関心を高め、地図から読み取る学習が行い易く、言語</p>

	<p>活動を促し易いものとなっていると報告を受けています。</p> <p>それでは、採択理由をご覧ください。</p> <p>地図を見る上での着眼点を示しているとともに、地図から読み取る学習活動等が設定されており、興味・関心を高めるための工夫がされている。また、読図のポイントや考察の視点、言語活動を促す発問が多く設定されており、目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫がされている。</p> <p>以上の事から、地図は、第一推薦を帝国としたいと思います。</p>
教育長	只今の、地図に関わる説明につきまして、質問等ありますでしょうか。
委員一同	ありません。
教育長	特に、質問・意見が無いようですので、報告がありましたように、地図につきましては帝国を、採択することに決定してよろしいでしょうか。
委員一同	異議なし。
教育長	異議が無いようですので、地図につきましては、帝国を採択することに決定しました。
教育長	1時間が経過しましたので、ここで、10分休憩といたします。
	《10分休憩》
教育長	休憩を閉じて会議を再開いたします。
教育長	続いて、事務局から数学について説明を求めます。
指導主事	<p>数学について報告します。現行は学図です。第1推薦 学図、第2推薦 東書となっております。1年生の教科書をご準備ください。</p> <p>観点1です。学図60ページ、東書52ページをご覧ください。「文字と式」の単元となっております。基礎基本定着のために、「計算力を高めよう」、誤答の説明、振り返りができるような設定になっています。</p> <p>観点2です。学図85ページ、東書80ページをご覧ください。章のまとめに、習熟度に応じた問題を設定している。学図の方では、「確かめよう」「計算を高めよう」東書では、「章の問題A」「章の問題B」というように設定してあります。</p> <p>観点3です。学図6ページ、東書50ページをご覧ください。ノート指導があり、具体的なポイントを示しています。学図では、ノートの使い方からレポートにまとめて発表しよう。と示しており、東書では、数学マイノート、考える力を伸ばす。ということで、授業中のノートのポイントを1から4までまとめて示してあります。</p> <p>観点4です。学図258ページ、東書248ページをご覧ください。活用発展的問題として問題が多数設定され、レポート作成の事例などがある。ページを進めていってもらおうと資料として、色々な内容が設定してあることが分かると思います。</p> <p>観点5です。学図の方は、262ページに発表の仕方なども取り入れています。東書の方では、観点5として、データでスポーツを科学するという社会と繋がるということで、発展的に課題を設定して最後に資料として掲載されています。</p> <p>それでは、採択理由をご覧ください。</p> <p>誤答を確かめる活動や、解き方を振り返るようにヒントやポイントを示した吹き出しが多く、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫がされている。</p> <p>また、「トライ」や「深めよう」で、学習したことがらをより深めたり広げたりするための内容が取り上げてあり、問題解決的な学習を実施するための工夫がされている。ということから、数学は、学図を第一推薦としたいと思います。</p>

	以上です。
教育長	これより質疑に入ります。只今の数学に係る説明につきまして、質疑・ご意見ありませんでしょうか。
委員一同	ありません。
教育長	それでは、数学につきましては、報告いただいたように学図を採択することに決定してよろしいでしょうか。
委員一同	異議なし。
教育長	異議が無いようですので、数学につきましては、学図を採択することに決定しました。
教育長	続いて、理科についての説明を求めます。
指導主事	<p>理科について報告します。現行は、啓林館です。第1推薦 啓林館、第2推薦 東書となっております。3年生の教科をお願いします。</p> <p>全体を通して、話し合いやレポートに重点を置き、インプットだけでなくアウトプットを意識しています。観点5の「言語活動の充実」では、「話し合ってみよう」という活動の場面を設け、科学的な概念を使用して考えたり、説明したりする活動を工夫しています。また、レポートについても作成のための例示がなされていますが、一番多かったのは啓林館で21設定されていました。</p> <p>まずは、啓林館です。観点1です。別冊「マイノート」をご覧ください。ワークシートや問題により「基本のチェック」や「力だめし」ができるようになっていきます。また、観点2では、県内の教材写真が最も多く取り入れられ、生徒が興味や関心を高めることができるようになっていきます。観点4では、249ページをご覧ください。学習のまとめでは、文字色が工夫され、青色シートを使って繰り返し復習ができるようになっていくという報告がありました。</p> <p>次に、東京書籍です。観点3では、各学年の分量については、巻末をご覧ください。ペーパークラフトなどの付録が多く設定されています。観点4では、巻頭資料や単元の初めには写真を多用して生徒の興味・関心を高める内容となっていると報告を受けています。</p> <p>観点3の「主体的に学習に取り組む工夫」では、原理や法則の理解を深めるために補充的な観察や実験が多く掲載されています。東書は150、啓林館は129です。</p> <p>3年間の最終章では、各教科書ともに「自然環境の保全と科学技術の利用」を取り上げ、総合的なものの見方を育成する工夫をしていますが、ページ数を多く設定しているのが東京書籍と啓林館です。調べるテーマの例を多く挙げているのが啓林館という報告がありました。</p> <p>それでは、採択理由をご覧ください。</p> <p>観察、実験のワークシートや「基本のチェック」を設けることにより、用語、観察・実験、要点の確認ができるようになっており、観察・実験の技能を習得させるための工夫がされている。また、県内教材写真の取扱い数も多く、興味・関心を高めるための工夫がされている。以上のことから、理科の第一推薦を啓林館としたいと思います。</p> <p>以上です。</p>
教育長	これより、質疑に入ります。只今の、理科についての説明にかかわる質疑・ご意見等ありませんでしょうか。
委員一同	ありません。
教育長	特に、質疑・ご意見等ないようですので、理科につきましては、只今ご報告を頂きましたように、啓林館を採択することに決定してよろしいでしょうか。
委員一同	異議なし。
教育長	異議無いようですので、理科については、啓林館を採択することに決定しました。

教育長	続いて、音楽（一般）についての説明を求めます。
指導主事	<p>音楽（一般）について報告します。現行は、教芸です。第1推薦 教芸、第2推薦 教出となっております。</p> <p>観点1です。教芸は、学習目標は目次と教材名の上に横書きで示しており、共通事項に示されている音楽を形づくっている要素を「学習の窓口」としてマークで示しています。音楽学習 MAP と該当ページの学習目標に並べて掲載しています。教芸8ページ、教出6ページをご覧ください。学年ごとの発達段階を考慮し「My voice!」で、呼吸・姿勢・歌声づくりについてイラストを用いて記載していることや、各学年に応じた内容で音符・休符・記号のビンゴゲーム、リズムゲームのページを設けています。「Let's create」「My melody」では、基本的な創作の活動を取り上げています。教出は、学習目標を教材名の下に縦書きで2つずつ示していることや、共通事項に示されている用語や記号を見開き右ページ上に掲載しています。1年の「Let's Sing」で、歌うための準備、変声と混声合唱についてイラストを用いて記載しており、「音のスケッチ」では、基本的な創作の活動を取り上げています。</p> <p>教芸は12ページ、教出は52ページをご覧ください。</p> <p>観点2です。教芸では、キャラクターの吹き出しにより、学習活動のヒントが示され、学習活動が促進されています。また、創作において Warming up、1、2、3 Challenge!!の順で思考・判断し表現する一連の学習過程を示しています。そして、各学年とも、「ここが分かれば Grade up!」のページで直接書き込める欄があり、主体的に考える課題が提示してあります。教出では、キャラクターの吹き出しにより、学習活動のポイントが示され、学習活動が促進されていることや、創作において、活動1、活動2、活動3の順で、思考・判断し表現する一連の学習過程を示しています。</p> <p>観点3です。教芸は、各学年とも、歌唱教材及び創作、鑑賞教材、合唱曲集、国歌「君が代」の順で配列しています。また、各学年とも目次とは別に「音楽学習 MAP」で学習内容と各教材の関連を明確に示していたり、目次に「発展的学習」と示したりするとともに、口絵や鑑賞教材を掲載したページが複数ページあり、写真と文章で記述しています。さらに、創作を表現や鑑賞の活動と関連させながら配置しています。教出は、各学年とも、歌唱教材、鑑賞教材、創作、学習資料、合唱曲集、国歌「君が代」の順で配列し、目次では、各学年とも「音楽の要素を捉えながら」「さまざまな音楽文化」「歌い合わせ、聴き深める喜び」という3つの柱でまとめて配置しています。また、各学年とも目次に「発展」と示すとともに、該当ページを1ページ設け、イラストと文章で記述しています。</p> <p>観点4です。教芸は、音楽学習 MAP で歌唱・創作・鑑賞の3つのまとまりで、学習目標、教材、共通事項に示されている音楽を形づくっている要素を示しています。また、音楽の約束のページに、学年の教材に対応させた楽典の内容を簡潔に示してあり、資料の写真やイラストは発色がよく鮮明であるという報告を受けています。その他には、キャラクターが登場し、吹き出しで学習のポイントを示していることや、目次で示している3つの柱を色分けし、マークをつけ、それを各教材の該当ページにも使用しています。楽典ページには、中学校で新しく学習する用語や記号を示すマークをつけ、本文で取り扱うページを示していることや、折り返した資料ページで大きく詳しく示しています。教出は、目次で示している3つの柱を色分けし、マークをつけており、それを各教材の該当ページにも使用しています。また、楽典ページに、中学校で新しく学習する用語や記号を示すマークをつけ、本文で取り扱うページを示していることや、折り返した資料ページで大きく詳しく示しています。</p>

	<p>観点5です。教芸は、鑑賞教材において、キャラクターの吹き出しで、聴く視点とまとめるポイントを示しています。また、聴き取ったことや感じたことを書き込める欄を設けている点や、「曲のよさをプレゼンテーションしよう」というページで、曲を聴いて、お互いに発表し合う場が設定されています。教出は、鑑賞教材において、キャラクターの吹き出しで、聴く視点とまとめるポイントを示しており、聴き取ったことや感じたことを「伝えてみよう!」という欄に書き込めるようにしています。</p> <p>それでは、採択理由をご覧ください。</p> <p>歌唱の技能に関して、イラストを用い、各学年を段階的に掲載しており、歌唱の基礎・基本の定着を図るための工夫がされている。また、曲を聴いて聞き取ったことや感じ取ったことを書き込める欄を設け、曲のよさを発表し合うプレゼンテーションの課題が設定してあり、鑑賞領域における言語活動の工夫がされている。</p> <p>以上のことから、音楽（一般）は、第一推薦を教芸としたいと思います。</p>
教育長	それでは、質疑に入ります。只今の、音楽（一般）の教科書についての説明につきまして質疑・ご意見等ありませんでしょうか。
委員一同	ありません。
教育長	特に質疑・ご意見等、無いようですので音楽（一般）の教科書につきましては、教芸を採択することに決定してよろしいでしょうか。
委員一同	異議なし。
教育長	異議なしと認め、音楽（一般）につきましては、教芸を採択することに決定しました。
教育長	続いて、音楽（器楽合奏）についての説明を求めます。
指導主事	<p>音楽（器楽合奏）について報告します。音楽（器楽）について報告します。現行は、教芸です。第1推薦 教芸、第2推薦 教出となっております。</p> <p>観点1です。教芸は、音楽学習マップで器楽と創作の目標を示し、「Let's play instruments!」で学習目標と学習活動を示しています。また、各楽器の基本的奏法が写真を使って示したり、練習曲の楽譜横に、音域を示したりしています。その他、打楽器については、12種類の楽器の奏法が説明と写真で示されており、練習のためのリズム譜が掲載されています。教出は、目次で、大きく2つ目標を示しています。また、各楽器の基本的な演奏法が写真を使って示されており、リコーダー練習曲のページの端に、運指の図を示しています。</p> <p>観点2です。教芸は、「アンサンブルセミナー」で、「ここが分かればGrade up!」として、アーティキュレーションの工夫、パートの役割、曲の構成を取り上げています。「アンサンブル」では、学習した各楽器を組み合わせた楽曲を掲載しており、「名曲スケッチ」では、アルト・リコーダーで名曲のテーマを演奏できる楽譜を掲載しています。また、「音を聴いて確かめよう」で内容と方法が示されていたり、「My Melody」で、箏を平調子に調弦して4小節の旋律をつくる課題と「Challenge!!」で前奏をつくる課題を設定しています。教出は、「合わせて練習しよう」で「Let's play!」「Let's try!」のアンサンブル曲を掲載しています。また、「名曲旋律集」でソロ楽譜を掲載しており、手作りの横笛の作り方を説明と写真で掲載したり、「音のスケッチ」で平調子の響きを生かして「荒城の月」の前奏を2小節創作する活動を設定しています。</p> <p>観点3です。教芸は、クラシック音楽、日本歌曲、日本古来の歌、わらべうた、日本の民謡、世界の民謡、映画・ポピュラー音楽、その他・オリジナル曲等を練習曲、アンサンブル曲として掲載しています。楽器は、アルト・リコーダー、ギター、箏、三味線、篠笛、太鼓、尺八、打楽器（12種類）を取り上げています。教出は、クラシック音楽、日本歌曲、日本古来の歌、わらべうた、日本の民謡、</p>

	<p>世界の民謡、映画・ポピュラー音楽、その他・オリジナル曲等を練習曲、アンサンブル曲として掲載しています。楽器は、アルト・リコーダー、ギター、箏、三味線、篠笛、太鼓、尺八を取り上げています。</p> <p>観点4です。教芸は、プロの演奏家の写真と言葉を掲載し、基本的な奏法を写真で示しています。また、キャラクターの吹き出しで、ポイントやヒントを示しています。その他、楽器ごとに色分けして、目次や本文の見出しに使用していたり、箏の楽譜は五線を併用しています。教出は、プロの演奏家の写真と言葉を掲載し、基本的な奏法を写真で示しています。また、鑑賞教材を示すマークを目次と該当ページにつけていたり、キャラクターの吹き出しで、練習ポイントを示したりしています。その他、楽器ごとに色分けして、目次や本文の見出しに使用したり、箏の楽譜は五線を併用したりしています。</p> <p>観点5です。教芸は、「アンサンブルセミナー」（器楽・創作）において、グループアンサンブルの中で工夫する視点を挙げると共に、具体的な学習活動を手順に沿って示しています。教出は、器楽の活動において、奏する際の工夫する視点を記述しています。</p> <p>それでは、採択理由をご覧ください。</p> <p>基本的な楽器に加え、打楽器を12種類掲載しており、それらの奏法が写真と説明が示され、練習のためのリズム譜も掲載されており、器楽の基礎・基本の定着を図るための工夫がされている。</p> <p>また、学習した各楽器を組み合わせた楽曲や、アルト・リコーダーで名曲のテーマを演奏できる楽譜を掲載し、興味・関心を高めるための工夫がされている。</p> <p>以上のことから、音楽（器楽合奏）は、第一推薦を教芸としたいと思います。</p>
教育長	それでは、これより質疑に入ります。只今の音楽（器楽合奏）の説明につきまして、質疑・意見等ありませんでしょうか。
委員一同	ありません。
教育長	質疑等が無いようですので、報告がありましたように、音楽（器楽合奏）につきましては教芸を採択することに決定してよろしいでしょうか。
委員一同	異議なし。
教育長	異議無いようですので音楽（器楽合奏）につきましては教芸を採択することに決定しました。
教育長	続いて、美術についての説明を求めます。
指導主事	<p>美術について報告します。現行は、日文です。第1推薦 日文、第2推薦 開隆堂となっております。</p> <p>観点1です。日文は、題材名の横に「学びのねらい」として4観点の学習内容のポイント、目標を示し4観点別を色分けしたマークで表記しています。そして、題材名の下に活動のきっかけとなる文章を記載しています。表紙の右上に1「出会いとひろがり」2・3上「学びの深まり」2・3下「美の探究」と明記し年間通して主体的に取り組む上でのテーマを示しています。題材のはじめに「学びのねらい」として4観点が示してあり学習活動が明確になる工夫がされています。また、題材についてのポイントや作品を作るための技法、技術を示すなど制作活動のヒントになる工夫があると報告がありました。また、作品を作るために必要な資料が多く掲載されています。開隆堂は、題材ごとに、つきたい4観点のそれぞれの目標をふりかえりで示し確認をするようにしています。また、題材ごとに基礎的な技法や知識などの習得したい内容を黄緑色の四角の中に表記し4観点のマークで示しています。表紙を開くと冒頭に美術を通して学ぶ大切なことについての文章があり、主体的に学習に取り組む工夫がされています。制作風景等活動の写真とともに生徒と作者の言葉や学校内で活用されている生徒作品を掲載するなど主体的に取り組む上で必要なヒントを多く示しています。</p> <p>観点2についてです。日文は、「美術1」、「美術2・3上」、「美術2・3下」3冊で構成され、「オリエ</p>

ンテーション」「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」「学習に役立つ資料」の4部構成になっています。また、教科書のサイズがA4サイズより大きく、折り込みページは、観音開きで和紙の素材を使っているページがあります。また、「学習に役立つ資料」もあります。開隆堂は、「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」「ガイダンスや資料的な内容」の3部構成になっています。題材の見出しのレタリングでは1文字ずつの大きさと配列を変えて題材の印象をつくる工夫があります。折り込みページを使って製作過程や作品を紹介しています。

観点3です。日文は、ガイダンスでは、「出会って広げよう」、「図画工作、そして…美術へ」と美術との出会いを大切にしています。2・3年上では「学びを深めよう」と美術の学習への深まり、下では、「美を探し求めて」「夢をかたちにするデザイン」発展的な学習を意識させる表現になっています。また、歴史上有名な作家の代表的な作品や学習に役立つ資料を多く表記されています。また、「コンピュータ・グラフィックスの表現」「アニメーションの表現」等現代的な分野から「石を彫る」「織る」「仏像の種類」「近代の建築」と伝統的な分野まで表記しています。構想中の生徒の言葉を吹き出して示し言語から得るヒントを学習につなげていると考えます。また、個人やグループで発想や構想している場面を写真やアイデアスケッチとともに示し話し合いの中から制作必要なヒントを得ることを示しています。鑑賞では、感じたことや調べて分かったことなどを、レポートやカードにまとめた例で示しています。そして、鑑賞を深めるための話し合いを促す記述があります。開隆堂は、折り込みページのガイダンスでは、1年は「美術って、何だろう?」2・3年では「他人と違うこと、他人と同じであること」というように学年に沿った内容が明確に表記されています。大型図版には、資料的な内容と歴史上有名な作家の代表的な作品が掲載されています。構想中の生徒の言葉を吹き出して示す工夫があります。発想のヒントになる言葉の例を複数示して発想の仕方を例示しています。個人やグループで発想や構想しているプロセスを写真やアイデアスケッチとともに示しています。鑑賞の活動に関しては、感じたことや調べて分かったことなどを、レポートやカードにまとめた例で示しています。また、鑑賞を深めるための話し合いを促す記述があります。

日文では、観点4として、折り込み作品のサイズが大きくなっています。「教科書美術館」のページは観音開きになっています。各冊の巻末に、主に題材に関する資料が掲載されています。また、観点5として、「学びのねらい」に鑑賞の観点が設定してあり、言語活動を促しています。いくつかの生徒作品には作者のコメントが付してあり、自分の考えを説明するアイデアスケッチやレポートを掲載している。「教科書美術館」には「～について話し合いましょう」と記してあり、話し合いを促す記述があるという報告を受けています。開隆堂は、観点4として、折り込み作品のサイズが大きく、折り込みに「ガイダンス」や「資料的な内容」が示されています。観点5では、題材ごとに鑑賞のきっかけとなる問いかけなどが示してあり、言語活動を促しています。作品紹介や、作品制作のための資料等、ワークシートを用いた事例を掲載しています。「比べてみよう（第1学年）」や「原寸ギャラリー（全学年）」で鑑賞を通して言語活動の充実を図っています。いくつかの生徒作品には作者のコメントが付してあると報告を受けています。

それでは、採択理由をご覧ください。

題材ごとに学習目標を、4つの観点で色分け表示し、学習内容のポイントを題材ごとに示してあり、基礎・基本の定着が図られる工夫がされている。また、発想・構想段階において、個人やグループで発想や構想している場面を、写真やアイデアスケッチ、レポートとともに示されており、言語を用いた発想・構想の工夫がされている。

以上のことから、美術は、第一推薦を日文としたいと思います。

教育長

それでは、これより質疑に入ります。只今の美術に関わる説明につきまして、質疑・ご意見等ありますでしょうか。

委員一同	ありません。
教育長	特に、質疑等無いようですので、美術につきましては、報告がありましたように日文を採択することに決定してよろしいでしょうか。
委員一同	異議なし。
教育長	異議無いようですので、美術の教科につきましては、日文を採択することに決定しました。
教育長	続いて、保健体育について説明を求めます。
指導主事	<p>保健体育について報告します。現行は、東書です。第1推薦 東書、第2推薦 学研となっております。</p> <p>観点1です。東書は、単元毎に「今日の学習」で本時の目標を提示、「やってみよう」で実生活を想起させる課題を提示し、学習への関心・意欲を高めようとする工夫がされています。9ページをご覧ください。学習の振り返りとして「考えてみよう」「生かそう」で、分かりやすい問いや身近な内容をとりあげ、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る工夫がされています。7ページでは、「読み物」として、学習内容に関連する読み物資料を掲載し、学習への興味・関心を高めるための工夫がされています。学研は、「学習の目標」と「ウォームアップ」で、自分自身で『考える』『調べる』『チェックする』『振り返る』などの学習活動への問いかけにより、関心を高める工夫がされている。「エクササイズ」「活用しよう」で、学習の振り返りをさせ、今後の生活に活かせるよう工夫がされている。さらに、「実習」で実習・調査が仕組みれ、写真や絵を分かりやすく配列し、技能の定着を図る工夫がされています。</p> <p>観点2です。東書は「資料・実習資料」として、実習や調査を実施するための資料やその具体例を掲載し、体験的な学習がスムーズに実施するための工夫がされています。口絵として、「この教科書の使い方」が最初に示され、また、「保健体育の学習方法」が明確になっていると報告を受けています。学研は、「実習」として、実習や調査を実施する方法や手順を写真やイラストで示し、体験的な学習の実施のための工夫がされています。</p> <p>観点3です。東書は、各学年で学習する内容を前半を「保健編」、後半を「体育編」でまとめ、各学年の学習内容の順序で構成し、各学年で学習する範囲が明確になっています。学研は、前半を保健編4、後半を体育編3で構成されています。</p> <p>観点4です。東書は「リンク」「他教科」として関連する学習内容を示してあります。また、巻末にキーワードの解説があり、分かりやすい説明があります。生徒の興味・関心を高められるよう、1時間毎に本文下欄に「Q&A」が掲載されています。学研は、「リンク」で参考になるウェブサイトへのガイドがあり、多様な資料収集がしやすく工夫されています。学習内容に適切に関連付けられた、写真やイラストを掲載し、さらにマークによって、『考える』『調べる』『チェックする』など、活動内容を示しています。「コラム」として、学習内容に関連した読み物資料を掲載し、学習への興味・関心を高めるための工夫がされています。</p> <p>観点5です。東書は、教科書に直接、自分の考え等を書くスペースがあり、思考力や表現力を高められる工夫がされています。学研は、「実習」や「探究しようよ!」の中で、資料を読み解く課題やコミュニケーション能力を高めるような言語活動を充実させる工夫がされています。</p> <p>それでは、採択理由をご覧ください。</p> <p>「やってみよう」「考えてみよう」として、実生活に関連した学習課題を提示しており、興味・関心を高めるための工夫がされている。また、教科書に直接、自分の考えを書くスペースがあり、自分の考えをまとめて書いたりする活動の工夫がされている。</p> <p>以上のことから、保健体育は、第一推薦を東書としたいと思います。</p>

教育長	それでは、これより質疑に入ります。只今の、保健体育に関わりまして、質疑・質問等いかがでしょうか。
委員一同	ありません。
教育長	特に、質疑等無いようですので、保健体育につきましては、報告がありましたように東書を採択することに決定してよろしいでしょうか。
委員一同	異議なし。
教育長	異議無いようですので、保健体育につきましては、東書を採択することに決定しました。
教育長	ここで、10分休憩といたします。
教育長	休憩を閉じて、会議を再開いたします。
教育長	続いて、技術・家庭（技術分野）について説明を求めます。
指導主事	<p>技術・家庭（技術分野）について報告します。現行は、東書です。第1推薦 東書、第2推薦 開隆堂となっております。</p> <p>観点1です。東書は、各章末で、学習内容の定着を自己評価し、確認できる工夫がされており、さらに、各小单元にも「学習のまとめ」のコーナーを設け、学習の振り返りが細かくできるように工夫されています。開隆堂は、各章末振り返りは3段階で自己チェックができる項目があり、各单元にもふり返りのコーナーを設け、学習の振り返りが細かくできるようにされています。</p> <p>観点2です。東書は、興味・関心を高める工夫として、各小单元に入るとき「考えてみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」「やってみよう」という投げかけがされており、生徒が学習に入る導入の工夫がされています。開隆堂は、章末のまとめに「生活に生かそう」等の項目を設け、学習内容を深めたり自分達の生活に活用したりする問いかけがされています。</p> <p>観点3です。巻末資料に加え、技術の教科書の方には切り離して活用できる「防災手帳」をも載せ、「技術・家庭科」で学習した内容を、防災につなげて生かせる工夫がされています。</p> <p>観点4です。東書は、各ページの下に、「Q&A」のコーナーを設け、生徒の興味・関心を高めたりする工夫がされています。「豆知識」というマークがあり、学習内容に関連があるちょっとした知識が得られるようにされている。開隆堂は、学習する内容を、教科書見開きで整理したりするなどの学習しやすい工夫がされています。「探求」というマークを用い、学習内容を深めたり広げたり問いかけがされています。</p> <p>観点5です。東書は、各領域の最終章「評価・活用」では、学習した内容を例えば「プラス・マイナス面」で整理し、その結果を交流し合う「話型」を示すなど、丁寧な資料が掲載されています。開隆堂は、プレゼンテーション作成では、発表する内容や発表する方法について箇条書きで丁寧に示されています。</p> <p>それでは、採択理由をご覧ください。</p> <p>章末の「学習のまとめ」が、「学習をふり返ろう」「学習したことを確かめよう」「生活に生かそう」の3部構成とし、学習のまとめの構成上の工夫がされている。また、「リンク」「他教科」「小学校」のマークで、他の学習内容や他教科・小学校の学習内容との関連を示しており、内容の表現・表記が工夫されている。</p> <p>以上のことから、技術・家庭（技術分野）は、第一推薦を東書としたいと思います。</p>
教育長	それでは、これより質疑に入ります。只今の、技術・家庭（技術分野）に関わりまして、質疑・意見等いかがでしょうか。
委員一同	ありません。
教育長	特に、質疑等無いようですので、技術・家庭（技術分野）につきましては、報告がありましたよう

	に東書を採択することに決定してよろしいでしょうか。
委員一同	異議なし。
教育長	異議無いようですので、技術・家庭（技術分野）につきましては、東書を採択することに決定しました。
教育長	続いて、技術・家庭（家庭分野）について説明を求めます。
指導主事	<p>技術・家庭（家庭分野）について報告します。現行は、東書です。第1推薦 東書、第2推薦 開隆堂となっております。</p> <p>観点1です。東書は、巻頭資料では、2ページ設定で「持続可能な社会を目指して」を掲載し、教科学習と環境問題への意識付けがに工夫してあります。開隆堂も、巻頭資料において、2ページ設定で「持続可能な社会を目指して」を掲載し、各領域の最後に「持続可能な社会をつくる」とし、考えることのできるまとめのページを設定しています。</p> <p>観点2です。東書は、興味・関心を高める工夫として、各小単元に入るときに「話し合ってみよう」「考えてみよう」「やってみよう」「調べてみよう」という投げかけがされ、生徒が学習に入る導入の工夫がされています。章末のまとめや各章の単元内に「生活に生かそう」の項目やコーナーを設け、学習内容を深めたり、自分達の生活に活用したりする問いかけがされています。開隆堂は、興味・関心を高める工夫として、各項目の始めのページには「話し合ってみよう」「考えてみよう」「やってみよう」「調べてみよう」「ふり返ってみよう」を設定しています。章末のまとめに「生活に」の項目を設けています。</p> <p>観点3については、それぞれ、1. 2. 3. 4とA・B・C・Dとで配分と振り分けがされています。</p> <p>観点4です。東書は、各ページの下に、「Q&A」のコーナーを設け、生徒の興味・関心を高めたりする工夫がされています。「豆知識」というマークがあり、学習内容に関連があるちょっとした知識が得られるようにされている。開隆堂は、学習する内容を、教科書見開きで整理したりするなどの学習しやすい工夫がされています。「探求」というマークを用い、学習内容を深めたり広げたり問いかけがされています。</p> <p>観点5です。東書は、各領域の最終章「評価・活用」では、学習した内容を例えば「プラス・マイナス面」で整理し、その結果を交流し合う「話型」を示すなど、丁寧な資料が掲載されています。開隆堂は、プレゼンテーション作成では、発表する内容や発表する方法について箇条書きで丁寧に示されています。</p> <p>それでは、採択理由をご覧ください。</p> <p>調理や製作実習の具体例が豊富であり、見開きで実習例が一覧でき、実践的・体験的な学習を実施するための工夫がされている。また、「リンク」「他教科」「小学校」のマークで、他の学習内容や他教科・小学校の学習内容との関連を示しており、内容の表現・表記が工夫されている。</p> <p>以上のことから、技術・家庭（家庭分野）は、第一推薦を東書としたいと思います。</p>
教育長	それでは、これより質疑に入ります。只今の、技術・家庭（家庭分野）に関わりまして、質疑・意見等いかがでしょうか。
委員一同	ありません。
教育長	特に、質疑等無いようですので、技術・家庭（家庭分野）につきましては、報告がありましたように東書を採択することに決定してよろしいでしょうか。
委員一同	異議なし。

教育長	異議無いようですので、技術・家庭（家庭分野）につきましては、東書を採択することに決定しました。
教育長	続いて、英語について説明を求めます。
指導主事	<p>英語について報告します。現行は、東書です。第1推薦 東書、第2推薦 光村となっております。</p> <p>東書は、観点1について、「まとめと練習」で、「確かめよう」は肯定文・否定文・疑問文と基本文が提示してあり、「やってみよう」は2種類の練習問題があります。観点2では、2ページで構成される各単元の各パートの右側のページの基本練習とSpeakに、ペア等の活動が位置付けられています。対話例を示し、応答を助けるイラストがほぼ毎回添えられています。特に、このSpeakは、話す・書くが統合的に活用されるよう工夫されています。観点3では、第1学年導入期(Hi, English!)が示してあり、観点4では、学習や表現のポイントを示す「学び方コーナー」や、項目ごとに分類した「1～3年 基本文一覧」を掲載しています。観点5では、4技能を統合的に活用させる言語活動として、Presentationを設定しています。</p> <p>光村は、観点1について、「Language Focus」の「整理しよう」では例文と説明、「確認しよう」では会話形式や適語補充等多様な練習問題があります。また、テキストを再度見返すGrammar Huntが準備されています。観点2では、教科書内の様々な場面でイラストや表、写真が数多く添えられています。これは、冒頭や各単元の間にも位置付けられています。特にユニットの冒頭に写真等を活用し、学習者の学習意欲の向上を図るとともに、本文全体をまず聞いてこれから学習するユニットに対して見通しが持てるよう工夫されています。観点3では、第1学年導入期(Let's Enjoy English)が示してあります。観点4では、「長い英文を読む」などについて学習や表現のポイントを示す「Your Coach」や3年間の学習を振り返る「基本文一覧」(和訳付)を掲載しています。観点5では、4技能を統合的に活用させる言語活動として、Go For It!を設定しています。</p> <p>それでは、採択理由をご覧ください。</p> <p>「まとめと練習」で、「確かめよう」は肯定文・否定文・疑問文と基本文が提示してあり、「やってみよう」は2種類の練習問題があり、さらに、巻末資料に、1年から3年までの基本文一覧を項目ごとに分類整理して掲載しており、言語に対する理解を深めるための工夫がされている。また、「読む」「考える」「書く」「話す・書く」の4つの技能を統一した形式で示されており、4技能を統合的に活用させる言語活動の工夫がされている。</p> <p>以上のことから、英語は、第一推薦を東書としたいと思います。</p>
教育長	それでは、これより質疑に入ります。只今の、英語に関わりまして、質疑・意見等いかがでしょうか。
委員一同	ありません。
教育長	特に、質疑等無いようですので、英語につきましては、報告がありましたように東書を採択することに決定してよろしいでしょうか。
委員一同	異議なし。
教育長	異議無いようですので、英語につきましては、東書を採択することに決定しました。
教育長	以上で、すべての教科の採択が終了しましたので、議案第29号令和2年度に安芸高田市立中学校で使用する教科用図書（特別の教科・道徳を除く）の採択につきましては原案のとおりとすることに異議ありませんか。
委員一同	異議なし。
教育長	ご異議無いようですので、議案第29号につきましては、原案のとおりにすることに決定をいたしました。

